

所属プロジェクト	ロボット型ユーザインタラクションの実用化 - 「未来大発の店員ロボット」をハードウェアから開発する -
担当教員名	三上貞芳、鈴木昭二、高橋信行
氏名	對馬武郎
学籍番号	b1018035
クラス	L
配属時における学習目標は何でしたか。（複数回答可）	プロジェクトの進め方 技術・知識の習得方法 技術・知識の応用方法
上の質問で「その他」を選んだ人は具体的に記述してください。	
上記の目標達成のために、どのようなことを行いましたか。（自由記述 200 文字以上）	プロジェクトの進め方について、メンバーを3つのグループに分けて開発し、最終的に統合するというやり方で開発を進めてきました。これにより全員で話し合うよりも効率的に意見を纏めることができたと思います。技術・知識の習得と応用については、前期の活動で CAD の技術やセンサー類の知識など多くのことを調べて身に付けることができました。また、身に付けた知識・技術を応用して機体の設計やシステムの構築などを行いました。
前期の活動を終えて、学習目標は変化しましたか？ 現時点（7月末）における学習目標を選択してください。（複数回答可）	プロジェクトの進め方 技術・知識の習得方法 技術・知識の応用方法
上の質問で「その他」を選んだ人は具体的に記述してください。	
（9の質問で学習目標が変化した学生） 学習目標が変わった理由は何ですか？（200文字以上）	
後期、学習目標の達成のために、どのようなことを行う必要があると考えますか。（200文字以上）	後期も基本的には前期と同じような進め方で問題ないと考えています。プロジェクトの進め方に関しては後期には各グループの

	<p>制作したロボットを統合することになるので、前期よりグループ単位で活動する頻度は少なくなると思います。約3倍の人数での話し合いになると思うのでどのように意見を纏めていくかが課題になると思います。技術・知識の習得と応用は継続して行い、必要に応じて新しい知識・技術を習得していきます。また、前期中に得たものを忘れないように復習も行っていきます。</p>
<p>前期の活動を振り返って、活動全体の印象や感想を書いてください。（自由記述 200 文字以上）</p>	